

<研修の受講要件>

## 社会福祉士・精神保健福祉士 有資格者ルート【第2号】

項目	内容
児童福祉法施行規則上の定義	<p>社会福祉士又は精神保健福祉士として、指定施設において2年以上児童の福祉に係る相談援助業務を含む業務に従事した者（前号に掲げる者を除く。）（前号：第1号】のこと）</p> <p>用語：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定施設 2024.3.18 付こども家庭庁局長通知の「別紙」に示された施設。 （一覧をご覧になりたい場合は、※のリンクの7ページ目参照）</li> <li>・児童の福祉に係る相談援助業務 児童又はその保護者への児童の福祉に関する相談に応じ、助言指導その他の援助を行い、関係機関や関係者との連絡調整等を行う業務。 （2024.3.18 付こども家庭庁局長通知）</li> </ul>
必要とする資格	社会福祉士 または 精神保健福祉士
実務経験 （上記資格を取得した上での経験）	指定施設において、児童の福祉に係る相談援助業務「を含む」業務に従事した経験が2年以上
備考	<p>「児童の福祉に係る相談援助業務を含む業務に従事した者」とは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定施設において、「児童の福祉に係る相談援助業務」に、労働時間は問わないが、必要な期間中を通じて従事した者とする。</li> <li>・このため、相談支援等に従事していた期間中のごく一部に児童の福祉に係る相談援助業務の相談があった場合や、担当していたケースの家族内に児童又はその保護者がいたが直接「児童の福祉に関する相談援助」を行っていたものでない場合には、これに該当しない。</li> <li>・なお、「期間」については通算して2年以上であること。上記の業務内容・期間を満たす経験が、複数の指定施設での経験であっても、差し支えない。</li> </ul> <p>（2024.3.18 付こども家庭庁局長通知からセンターが一部修正）</p>